

# 神戸市立博物館 外部評価書(27年度)

## 使命 (要点)

- 多様な神戸文化の特徴と東西文化交流の態様を明らかにし、地域の発展に役立つ「知の拠点」となります。
- 優れた文化・芸術にふれあう機会を「提供」し、新たな調査・研究を「提案」し、その成果を「発信」する博物館となります。
- 市民・利用者が集い、神戸を愛し、誇りとする拠りどころが得られる博物館になります。
- 震災と復興のなかで得た知見を発信していきます。

## 活動目標

- 1 地域の歴史情報や未来の指針が得られる博物館にします  
文化財を保存・継承していく博物館にします
- 2 すぐれた芸術・文化に出会える博物館にします
- 3 芸術・文化を介して、利用者が広く交流できる博物館にします
- 4 すべての人々にやさしい博物館にします

## 活動指針

- 市民が誇れる博物館
- すべての人々に親しまれる博物館
- 地域の文化を支える博物館
- 情報発信をする博物館

※各活動目標に対する外部評価の平均スコアは委員評価(A~D)の平均による

A: 4点、 B: 3点、 C: 2点、 D: 1点で算出。

A: 3.25点以上

B: 2.50点以上 3.25点未満

C: 1.75点以上 2.50点未満

D: 1.75点未満

## 平成 27 年度の総評

### 自己点検評価による総評

27 年度は、懸案であったリニューアルについて、4 月に外部委員を含む検討委員会を設置し、検討委員会から基本計画案をまとめていただき、所定の手続きを経て、28 年 3 月に基本計画が策定できた。開館して 34 年目を迎え、施設・設備面の老朽化や常設展示の更新がないなどの課題解決に向けて方向性をはっきりさせることができたとともに、28 年度以降工程表に則ってリニューアルを進めていけることが可能となり大いに成果があった。

27 年度の入館者は、360,839 人と 26 年度に比べると約 10 万 4 千人少なかった。これは、1 月から 3 月にかけての須磨展とチューリヒ展の人数の差と考えている。しかし、30 万人以上を確保できており、当館としては、健闘していると考えている。

特別展「大英博物館展」の最終日に、昭和 57 年 11 月の開館以来の入館者数が、1,000 万人を達成した。これは、900 万人目から約 2 年 2 カ月で達成しており、入館者の 100 万人毎のペースは、徐々に速まっている。

今後、リニューアル基本計画の「まちに開かれた博物館」、「わかりやすく伝えるための再構築」、「博物館機能のさらなる充実」の 3 つの基本方針に沿って、神戸の文化振興を担う拠点博物館を目指していきたい。

なお、4 つの活動目標の自己評価は、26 年度と同様であった。

### 外部評価による総評

活動目標に対する評価は「すべての人々にやさしい博物館にします」が B 評価、他の 3 点は A 評価となった。これは自己点検評価も含め、昨年度と同様の評価結果である。A 評価が続いている 3 点の活動は、神戸市で博物館としての地位を築いてきた 34 年間の努力の成果であると思う。博物館のこれまでの事業展開や継続的な取り組みの成果がよく表れているのだと考える。展覧会、学校関係を中心とした普及事業、地域に関する調査、他機関との連携など、可能な範囲で積極的に展開されている点が評価できる。

展覧会に関しては、今年度、「須磨の歴史と文化展」、「太山寺展」など、学芸員の調査に基づいて地域の歴史・文化を見つめ直し、発信する展覧会と「大英博物館展」のような世界の至宝を斬新な視点で広く発信する大型海外展をバランス良く開催できた点が評価できる。

「須磨の歴史と文化展」のような地域の歴史・文化を紹介する展覧会は、入館者数が伸びるものではないが、展覧会の評価は入館者数だけで判断するべきではなく、地味ながらも博物館活動の基本となる活動として今後も定期的に継続していただきたい。

B 評価となった「すべての人々にやさしい博物館にします」については、今年度、リニューアル基本計画が策定され、来年度の基本設計、実施設計にむけて基盤づくりができた点が評価できる。ネット環境が更に進んでいく中、施設などのハード面だけでなく、展示方法、展示内容、情報発信の方法なども含めて、市民に開かれた、より良い博物館になるべく一層の努力を期待している。

## 活動目標 1

地域の歴史情報や未来の指針が得られる博物館にします  
文化財を保存・継承していく博物館にします

### 自己点検評価・・・A

27 年度は数年をかけて行った地域（須磨）の資料調査に基づき、特別展「須磨の歴史と文化展—受け継がれる記憶—」を開催することができたのは大きな成果といえる。今後とも地域の調査等を丹念に行い、広く文化財の保存、継承を図っていくこととしたい。また、文化財課との共催で「太山寺展」を開催し、新たに国重要文化財指定となった「四季山水図屏風」を含め、多くの資料を紹介できたことも歴史情報の発信の一つとなった。さらに、資料収集活動と並行して、日常の保存活動を実施できたことを評価したい。

## 外部評価・・・A

- 「須磨の歴史と文化展」は、派手さはなかったであろうが、地域に密着した地道な研究成果としての展示を評価したい。
- 地域の文化財を調査し、公開、さらに保存をはかることは、博物館の重要な使命です。このような展覧会は必ずしも多くの入館者数を期待できるものではありませんが、博物館の活動として大いに評価できます。
- 市民に周囲の文化財を再発見してもらうのは大事な活動あり、評価できる。
- 震災資料の扱いが気になりますが、国・県・市で良く検討してください。
- 新聞社等との共催により、海外等の著名な作品を展覧することも重要な市民サービスだが、須磨展、太山寺展のような地域に密着した、また、地道な調査研究活動の成果としての展覧会の開催も博物館の使命であり、それが実現したことを高く評価したい。一方、DB や HP については自己点検評価にもあるとおおり、一層の努力が求められる。IT 化の波に乗り遅れることのないようにしたい。
- 神戸市立の博物館として、丹念な地域の資料調査に基づいた展覧会を開催するなど、地域の特色を生かした取り組みがなされており、この点が特に評価できる。
- 現在の常設展示は、触れる事が出来る良いものですが、体感型VR等の導入（短期でも）等の挑戦もして下さい。
- 引き続き、地域に住む住民にとっても気付きになるような活動をお願いします。
- リニューアル案で、より子どもにもわかりやすい視点を加えることができると思うが、現在もよく努力されていると感じる。
- 高精細画像は良い取組みであり、引き続き対象を増加させて欲しい。

## 活動目標 2

すぐれた芸術・文化に出会える博物館にします。

## 自己点検評価・・・A

リニューアル検討委員会の設置ならびに「神戸市立リニューアル基本計画」が策定され、常設展示の今後の方向性を明文化することができたことは一定の成果であると言える。また、「地域の歴史に関する情報を発信します」とも重複するが、「須磨の歴史と文化展」と「太山寺展」などの企画によって、館藏品などの魅力を伝えることができている。さらに、目標入館者数には到達していないものの、27年度も質の高い大型海外展を開催でき、芸術・文化に出会える博物館としての目標はクリアできている。「大英博物館展」最終日に、昭和57年11月の開館以来の入館者数1,000万人を達成した。

## 外部評価・・・A

- 「大英博物館展」は、本家のような地域ごとの展示ではなく、テーマごとで、地域や時代を越えたものであったことは非常に斬新で、良かった。目からウロコの感があった。これからもこの様な展示法を工夫して行って欲しい。
- 「大英博物館展」など世界レベルの展示であり、すぐれた芸術・文化に出会える博物館となるよう努力されています。
- 小・中との連携がよくできていると思います。
- リニューアル計画を策定したことは、将来にわたり、市民が誇りに感じ、優れた芸術・文化に出会える場とするための大きな一歩であった。
- 「須磨の歴史と文化展」と「太山寺展」などの企画を通して、地域及び日本の歴史、文化、芸術の魅力発信する機会を設けている点、さらに、「大英博物館展」を開催し、海外の博物館の貴重な作品を展示し、広く世界の芸術・文化の紹介を行った点が特に評価できる。
- 今年度は近中社兵庫大会が神戸市で開催され、研究冊子の表紙と冊子等を入れる封筒にY. コジマ作「神戸港眺望」を使用させていただいた。博物館の作品が広く使用されていると感じています。
- トリップアドバイザー等の旅行情報にも市内中25位/345と良い評価がされていた。
- 開館時間の工夫等でより利用しやすい博物館となるよう検討をお願いします。

### 活動目標 3

#### 芸術・文化を介して、利用者が広く交流できる博物館にします

##### 自己点検評価・・・A

学校教育、生涯学習の面で利用者が広く交流できる場として存立しており、学習支援交流員など人材育成の面などでも整備ができています。今後とも、広報などで周知を図り、博物館の存在意義をより高めていく必要がある。

##### 外部評価・・・A

- 教育・普及活動は、例年通り順調であった。
- 地域の学童・生徒には「のびのびパスポート」、また外国人留学生には、「ハッピーメモリーパス」が配布されており、これらを利用して無料で市立博物館を見学する機会が与えられている。さらに、博物館では、学芸員による学童・生徒を対象としたレクチャーの機会を多数提供している。学習・教育支援が大変充実しており、芸術・文化に関する教育への貢献という点において、特に評価できる。
- 出張授業等の際して、地域の歴史や神戸の歴史に興味を持つ契機となるような活動をお願いします。

### 活動目標 4

#### すべての人々にやさしい博物館にします

##### 自己点検評価・・・B

施設・設備については、荷物用エレベーター、映像監視システムの更新などを実施し、消防設備改修や中央監視システムの更新も 28 年度中に予定されており、順調に進んでいる。今後は、博物館のリニューアルを実施していく中で、より一層、ユニバーサルデザインの観点から必要な施設、設備の改修を進めていく。

##### 外部評価・・・B

- 予算が厳しい中、良く努力されていると思います。
- リニューアルによってより人に優しい博物館になることを期待しています。
- 結果としては B かもしれないが、良くがんばっていると思います。
- 現状では問題が多いものの、リニューアルによって改善が期待できる。
- 施設設備については、可能な範囲で、ユニバーサルデザインに対応した更なる改修が望まれる。また、今後、外国人の観光客などの集客を進めるために、予算の許す範囲で、英語や多言語での展示物の説明などを、段階を経て充実させていくことが望ましいと考える。
- 予算には限りがあるとは思いますが、リニューアルに際しては、より利用しやすい設備となるように検討をお願いします。
- リニューアル検討委員をさせて頂き、リニューアル案を比べてみると、やはり現在の状況は老朽化もあり、さらに使いやすいものとして生まれ変わる点を考えて、B 評価とした。